



初等部で培った自信を胸に、
目標に向かって突き進む。

関西学院大学理工学部4回生

真田 潤平 さん

大学院進学予定



Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

6年生の時にクリスマスページェントに出演しました。先生方と一緒に何度も練習を繰り返し、初めて全校生徒の前に立つという非常に緊張する経験をしました。劇は無事に終わることができましたが、緊張から解放されたせいか、インフルエンザにかかってしまいました。今、思い返せば「あの時は頑張りすぎたなあ」と感じます。それからは、あの瞬間の緊張感に比べたら大したことないと、何事にも緊張せず自信をもって行動できるようになりました。

Q 初等部卒業後、中学、高校、大学と、どのような学生生活を送ってこられましたか。

中学、高校では様々な知識、経験をインプットし、大学ではそれをアウトプットしようと努力してきました。中学からは新たな環境に一步踏み出すことを目標として、多くの委員会に参加し、体育大会や文化祭などの行事を裏から支える貴重な経験をしました。大学では自分の経験を他者に還元しようと、塾の講師として働く中で生徒の相談にものりましたが、そこでは生徒に様々な選択肢を示してあげようと努めてきました。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負を教えてください。

私は4月から大学院に進学します。大学では理系に進学しましたが、そもそも理系に進もうと決めたのは、将来的な目標として自分の知識や技術を使い、社会や人々の日常生活をより良いものにしたいという思いがあったからです。この目標を達成するために大学院で学び、さらに専門的な知見を深めていきたいと思います。

Q 初等部の後輩たちに向けて、メッセージをお願いします。

何事にもチャレンジする勇気を持ってください！チャレンジした結果が良くても悪くても気にする必要はありません。“チャレンジした”ということが重要です。初等部に通うみんなは他の小学生に比べてチャレンジする機会が確実に多いです。その環境を活かして大きく成長していきましょう。